

## 試験対応シリーズ

### 塩水噴霧腐食試験

#### 試験概要

塩水噴霧試験とは、金属材料や塗装・めっき処理を施した製品に対し、塩分を含んだ霧を連続的に噴霧し、実際の環境下で発生する腐食を短時間で評価する試験です。

自動車部品や電子機器、建築材料および太陽電池など海塩や融雪塩による塩害から製品を守る為に実施されIEC、JIS、ISO、JASOなどの規格に準拠して実施されます。

試験後には、腐食の発生状況や外観の劣化、電気的性能等を調査して、製品の耐久性を評価します。

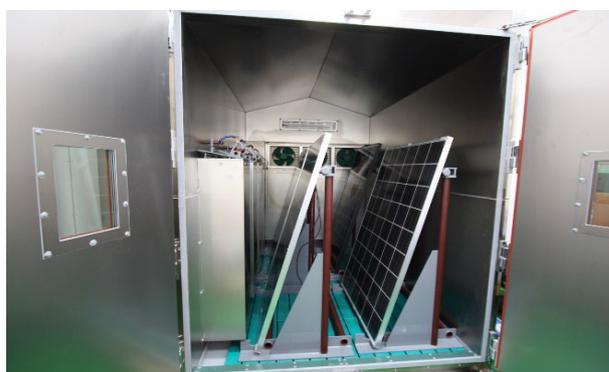
#### 塩水噴霧試験の種類

塩水噴霧試験の種類	塩水噴霧試験の内容
中性塩水噴霧試験(NSS) (Neutral Salt Spray Test)	中性の塩水溶液を用いる最も一般的な試験方法
複合サイクル腐食試験 (CCT) (Cyclic Corrosion Test)	塩水噴霧に加えて、乾燥、湿潤、低温条件などを組み合わせ、より実環境に近い厳しい条件で評価します。
キャス試験 (CASS) (Copper-Accelerated Acetic Salt Spray Test)	酢酸酸性の塩水に塩化銅を加えた溶液を用い、より腐食性が高く、塗膜の耐久性を評価する際に用いられます。
酢酸酸性塩水噴霧試験 (ASS) (Acetic Acid Salt Spray Test)	塩水に酢酸を加えて水溶液の酸性度を高めることで、より厳しい腐食環境を再現する塩水噴霧試験です。



小型塩水噴霧試験槽

900mm(W) × 600mm(D) × 500mm(H)



大型塩水噴霧試験槽

2300mm(W) × 1400mm(D) × 2000mm(H)

# Chemitox

2025-10

e-mail



株式会社ケミトックス 山梨試験センター-KAI  
 担当：栗本 晴彦 Email: ha-kurimoto@chemitox.co.jp  
 〒408-0103 山梨県北杜市須玉町江草 18349  
 Tel: 0551-42-5061 Fax: 0551-20-6335

## 塩水噴霧試験の対応規格一覧

規格番号	試験名	試験内容
IEC61701	太陽光発電(PV) 塩霧腐食試験	IEC60068-2-52 の塩水噴霧試験の規格を参照
IEC60571	鉄道車両機器環境試験サービス	塩水噴霧試験 (クラス ST1 ~ クラス ST4)
IEC60068-2-52 (JIS C 60068-2-52)	環境試験方法—電気・電子— 第 52 部: 塩水噴霧サイクル試験方法	中性塩水噴霧試験 (試験方法 1~7)
JIS K 5600-7-9	塗料一般試験方法— 第 7 部: 塗膜の長期耐久性 第 9 節: サイクル腐食試験方法	試験サイクルは A、B、および D
JIS Z 2371	塩水噴霧試験方法	中性塩水噴霧試験
JIS H 8502	めっきの耐食性試験方法	中性塩水噴霧試験 / 中性塩水噴霧サイクル試験
ISO 9227	人工大気中での腐食試験— 塩水噴霧試験	中性塩水噴霧試験
JASO M 609	自動車用部品・材料腐食試験方法	複合サイクル試験 A 法 / 複合サイクル試験 B 法(塩水噴霧法)
JASO M 610	自動車部品外観腐食試験方法	JASO M 609:2024 に統合され廃止

## 装置スペック

項目	大型試験槽 ①	大型試験槽 ②	小型試験槽
槽内寸法	2300mm(W) × 1400mm(D) × 2000mm(H)		900mm(W) × 600mm(D) × 500mm(H)
耐荷重	150kg	350kg	30kg
塩水噴霧時温度	35℃ ~ 50℃		35℃ ~ 50℃
槽内温度	室温 ~ 60℃		室温 ~ 60℃
槽内湿度	50%RH ~ 95%RH		50%RH ~ 95%RH
噴霧量	1 ~ 2mL / 80 cm <sup>2</sup>		1 ~ 2mL / 80 cm <sup>2</sup>

上記以外の試験にも対応致します。お気軽にお問い合わせください。

# Chemitox

2025-10

e-mail



株式会社ケミトックス 山梨試験センター-KAI  
 担当：栗本 晴彦 Email : ha-kurimoto@chemitox.co.jp  
 〒408-0103 山梨県北杜市須玉町江草 18349  
 Tel : 0551-42-5061 Fax : 0551-20-6335